

都立病院の充実を求める

連絡会ニュース

〒170-0005 豊島区南大塚 2-33-10
電話 03-6912-1871 FAX03-6912-1872 メール thei41822@blue.ocn.ne.jp 2020・7・20 第86号

独法化を中止し都立・公社病院の充実を！ 7.17都議会開会日連絡会宣伝行動 宇都宮健児さんからも力強い激励

7月17日、「連絡会」はこの日始まる臨時都議会に向けて都議会前での宣伝行動を行いました。各「守る会」などから30名を超える方が参加し、1時間近く宣伝を行いました。

最初に挨拶いただいたのは、都知事候補として奮闘された宇都宮健児さん。選挙での支援のお礼を述べ、都知事選で掲げた3つの緊急政策の重要性を訴えました。知事選について、私にとっては社会活動の一つ、今後も都政を監視して行きたいと述べました。

続いて、共産党都議団から藤田りょうこ都議が臨時都議会でコロナ

対策や病院等の問題で奮闘する決意を述べました。

さらに、医療制度研究会副理事長の本田宏さんも埼玉から駆け付け、日本の診療報酬の低さと、それに加えて新型コロナで病院経営が厳しい状況をユーモアを交えて話してくださいました。

続いて、矢吹義則東京自治労連委員長が挨拶。独法化された長崎みなとメディカルセンターで84日間連続勤務、一カ月159時間も残業していた33歳の医師が過労死し、遺族が訴訟を起こした。しかし、病



挨拶する宇都宮健児さん

院側は認めなかったが、理事長が代わったことで和解したと報告しました。独法化の大きな弊害である、理事長権限と議会のチェックが入らない問題点が明らかです。

続いて千葉かやと都庁職病院支部長が、自身現場の看護師として働いている現状を、防護服を着ての看護の厳しさなどを具体的に訴えました。

三多摩からは、菅谷正見三多摩労連顧問が挨拶



挨拶する本田宏さん



挨拶。小池知事が「三多摩格差ゼロ」と公約したのに、何もやってこなかったこと、特に保健所の統廃合で電話が繋がらない状況になっている、都立病院も八王子や清瀬にあった小児病院が統合されてしまったことなどを訴えました。

最後に、赤尾関恵子代表委員が

閉会の挨拶を行い、宣伝行動を終わりました。

この行動にあたって、前沢、赤尾関両代表委員が都議会各会派（自、公、都民ファを除く）に挨拶やメッセージの要請をしましたが、立憲民主党は会議中で、残念ながら共産党のみの参加でした。

「都民連」の都議会開会日行動にも参加 民間病院の経営赤字がコロナで増大

7月7日の「連絡会」の宣伝行動終了後、12時15分より開催された「都民連」主催の都議会開会日行動に、「連絡会」も参加をしました。

荻原淳東京地評議長の開会挨拶に続き、宇都宮健児さんが「連絡会」の行動から引き続き参加。司会からも、このようにまじめな宇都宮さんこそ都知事にふさわしい人と紹介されました。



都議会からも立憲民主党の西沢けいた都議、共産党の里吉ゆみ都議が挨拶。民医連の代表からは、民間病院の経営赤字について話が

あり、民医連加盟の病院だけでも5億の赤字を抱えており、医療機関への支援が緊急に必要との訴えがありました。

集会後、氏家、前沢、赤尾関代表委員は都議会の自、公、都民ファにQ&Aを届け、好意的に受け取りました。高橋事務局長は東京社保協の開会日要請行動に参加し、独法化撤回を求めました。



挨拶する里吉都議と西沢都議



宇都宮健児さん